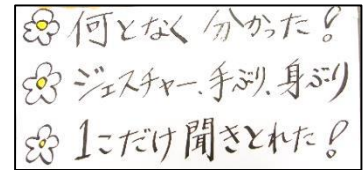


### (3) 授業実践

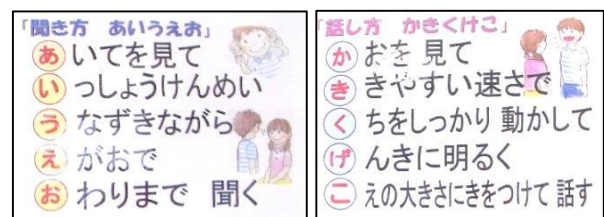
#### 単元に入る前に

単元に入る前に安心して取り組ませる必要を感じ、外国語活動において「目指す姿」について気付かせていく時間を設けました。外国語活動では、「全部の英語が分からなくても何となく分かればよいこと、英語だけではなく非言語情報も大切だということ、英語表現を次の時間に忘れても大丈夫なこと」を伝えました。そうすることで、児童は英語が全部分からなくても、何となくでいいのだと安心している様子が見られました。また、相手とかかわる活動をしたときに、相手からどんな反応が返ってきたらうれしいのか問い掛けて、相手に心を寄せて交流する姿勢や気持ちをもつことが大切だということに気付かせていきました。児童が気付いたことは、画用紙に書いて掲示し、毎時間の授業が始まる前に触れることにしました（資料 4）。



資料 4 単元前に共通理解

また、資料 5 は、検証授業を行った学校が各教室に掲示している聞き方と話し方の目指す姿です。教育活動全体で活用し、児童が馴染んでいるこの視点を、外国語活動でも他教科と関連を図る観点から参考にさせてもらうことにしました。児童は、「聞き方 あいうえお」「話し方 かきくけこ」を意識しながら相手に接し、丁寧なコミュニケーションをとることを目指しました。



資料 5 教育活動全体で目指す聞き方・話し方

#### 単元名 Lesson 5 友だちにインタビューしよう(第 5 学年 平成 27 年 6 月実施)

#### 単元の概要

単元のゴールに「友達 Book」を作るためのインタビュー活動を設定して、外国語を通して好きなものを尋ねたり答えたりするコミュニケーション活動を仕組みました。人それぞれにいろいろな思いや考えがあることに気付くとともに、好きなものは何かを尋ねる表現に慣れ親しみ、友達や先生に積極的にかかわろうとすることを目標にしました。前述した本研究の視点となる「外国語に慣れ親しませる手立て」を各時間の中に盛り込んでいきました。

#### 単元目標

外国語を用いて相手の好きなものについて尋ねたり答えたりするコミュニケーション活動を通して、人それぞれにいろいろな思いや考えがあることに気付くとともに、好きなものは何かを尋ねる表現に慣れ親しみ、友達や JTE に積極的にかかわろうとする。

#### 単元の評価規準

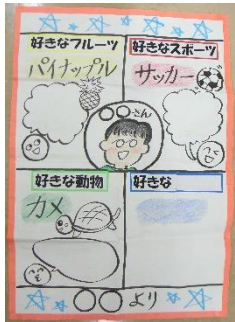
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
・好きなものについて、進んで尋ねたり答えたりしようとしながら、友達や JTE に積極的にかかわろうとしている。	・好きなものは何かを尋ねる表現に慣れ親しみ、それらを用いながら活動している。	・日本語と英語の音の違いに気付いている。 ・人それぞれに様々な思いや考えがあることに気付いている。

## 単元計画(全 5 時間)

時	活動名・目標	主な活動	評価			
			コ	慣	気	評価規準 ＜評価方法＞
1	<b>好きな色や形は何？</b> ・英語での色や形の言い方を知り、 <b>聞く活動</b> 日本語と英語の音の違いや共通点に気付く。 <b>聴く活動</b> ・好きなものは何かを尋ねたり答えたりすることで、考えや思いの違いや共通点に気付く。 <b>聞く活動</b>	<b>単元のゴールを設定する</b> ・楽器のトライアングルやお盆等実物の形を見ながら英語表現に慣れ親しむ。 <b>他教科との関連</b> ・形さがしゲーム <b>他教科との関連</b> ・Let's Listen 1、2 ・Let's Chant ・4つの部屋ゲーム <b>心をつなぐ活動</b> ・「夏」をイメージする色を伝え合う。			○	・日本語と英語の音の違いに気付いている。 ・自分と友達との考えや思いを比べ、異同に気づき相手の思いを受け入れようとする。 ＜行動観察・振り返りカード点検＞
2	<b>好きな食べ物は何？</b> ・好きなものは何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 <b>聞く活動</b>	・クローズアップ写真等を見て、食べ物を表す英語表現に出会う。 <b>日常生活との関連</b> ・キーワードゲームで、尋ねる英語表現に慣れ親しむ。 ・Let's Chant ・擬似的コミュニケーションで尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。			○	・好きなものを尋ねる表現を用いたり、答えたりしながら活動している。＜行動観察・振り返りカード点検＞
3	<b>先生の好きなものは何？</b> ・好きなものは何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 <b>聴く活動</b> ↓ <b>訊く活動</b>	・Let's Chant ・果物や動物などの英語表現のカテゴリー分けをする。 <b>日常生活との関連</b> ・非言語情報を手掛かりに、相手の心情をくみ取ろうとする。 <b>心をつなぐ活動</b> ・ALT や JTE の好きなものを予想し、尋ねる。			○	・好きなものを尋ねる表現を用いたり、答えたりしながら活動している。＜行動観察・振り返りカード点検＞
4	<b>好きなものをインタビューしよう</b> ・好きなものについて、積極的に尋ねたり答えたりして、友達とより深くかかわろうとする。	・カテゴリーを変えながら、4つの部屋ゲームをする。 ・ラッキーカードゲームをして、尋ねる英語表現に親しむ。 ・友達の好きなものを予想してインタ			○	・好きなものについて、尋ねたり答えたりするなど、友達に積極

	<p><b>訊く活動</b></p> <p>ビューしたり、自分のことを伝えたりする。</p> <p><b>心をつなぐ活動</b></p>			<p>的にかかわろうとしている。&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p>	
5	<p><b>「友達 Book」を作ろう</b></p> <p>・友達のことがより分かる本を作成することで、友達の好みや思いに寄り添う。</p> <p><b>訊く活動</b></p> <p><b>単元のゴール</b></p>	<p>・インタビューしたことを基に、他者紹介をする。 <b>心をつなぐ活動</b></p> <p>・インタビューメモを参考にしながら、友達についての Book の 1 ページを作る。</p>	○	○	<p>・友達の好きなものを予想して積極的にかかわろうとする。&lt;発表観察&gt;</p> <p>・ Book 作りを通して、相手に対する気付きをもっている。&lt;作った「友達 Book」への書き込み点検&gt;</p>

**授業の実際**

1 時目	主な活動	JTE の具体的な手立て (○) と発問等 (T)、児童の反応 (C)
<p>目標・英語での色や形の言い方を知り、日本語と英語の音の違いや共通点に気付く。</p> <p>・好きなものは何かを尋ねたり答えたりすることで、考えや思いの違いや共通点に気付く。</p>		
好きな色や形は何？	<p>・単元のゴール設定</p>	<p>○単元のゴール設定「友達 Book を作ろう！」</p> <p>T: 自分の好きなものを書いた自己紹介プリントは作ったことがありますね。しかし、友達の紹介は書いたことがありますか。この単元では、好きなものを尋ね合う活動をします。友達にインタビューしたことをまとめて、さらにクラスみんなに知らせていくというのはどうでしょう。</p>
		 <p>友達 Book 見本</p>

C : 全員分、書きたい！

単元のゴールを明確にして、外国語に慣れ親しむ過程に意欲的に取り組ませようとするところについては、単元の初めに、世界に一つしかない「友達 Book」を作ろうと提案したところから始まりました。児童は、自分の好きなもの等を書いた自己紹介カードなどは書いたことがあるけれど、そう言えば友達のことを書いたことはないという反応をしました。友達のことを紹介するすてきな 1 ページを作ろうという単元のゴールを意識して、伝え合うために用いる英語表現を意欲的に使っていました。

- ・形の言い方を知る。
- ・色の言い方を知る。

○楽器のトライアングル(実物)を見せながら新しい表現に出会わせる。

T : 音楽の先生は「トライアングル」、ALT の先生は “triangle”

→ 発音やイントネーションの違いに気付かせる。

音楽との関連

○モノクロの果物画像を電子黒板で提示する。

T : What this? What color is this?

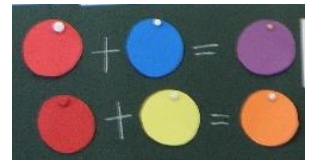
C : It's a strawberry. Red!

○色を混ぜたら何色になるか、色のたし算で考えさせる。

赤+黄=橙 赤+青=紫 黄+青=緑

図工との関連

C : Red and Yellow. . . . orange !



- ・色の言い方に慣れ親しむ。



○3年生の時に育てたひまわりの色を、モノクロ画像を提示して尋ねる。

たね . . . white and black 子葉 . . . green

葉 . . . green 花 . . . yellow 枯れたら . . . brown

理科との関連

- ・形の言い方に慣れ親しむ。

○下学年の算数の教科書の画像から、何の形か考えさせる。

T : How many triangles?

C : One, two, three, four!

T : What shape is this?

C : triangle! Four triangles. Big triangle!

算数との関連



- ・友達の考えと比べ、異同に気づき、受け止める。

○身の回りのものの色や形(時計の形等)を尋ねる。

色を見付けて指さしする。

日常生活との関連

○4つの部屋ゲーム . . . 教室の四隅に、答えを紙に書いて貼る。児童は自分の好きなものの場所へ移動する。

→人それぞれの好みやその理由について知る。

心をつなぐ活動

○「夏」をイメージする色を考える。

→好みやその理由は人それぞれであることに気付かせる。

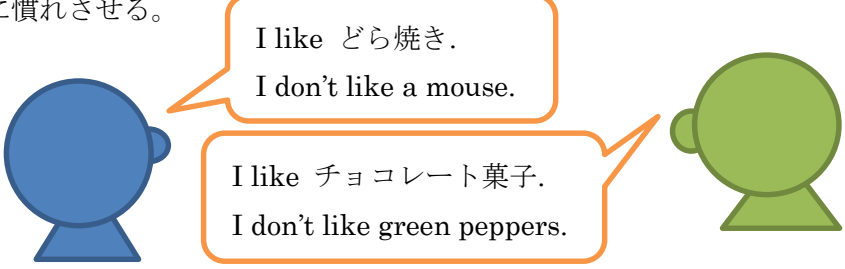

心をつなぐ活動

C1 : Red. 夏は太陽が主役で暑いイメージだし、スイカの色も赤だから。

	<p>C2 : Green. スイカの皮の色が緑だから。</p> <p>C3 : Yellow. 明るいイメージだから。</p> <p>C4 : Blue. 海が好きだから。すぐに思い浮かんだ。</p> <p>C5 : 夏は暑いから red で、海やプールのイメージで blue。赤と青、合わせて紫。紫って英語で何て言うの？</p> <p>C6 : 僕は blue だけど、木が大きく成長するから green と言う人もいてびっくりした。</p>
--	---



<b>2時目</b> 主な活動	JTE の具体的な手立て (O) と発問等 (T)、児童の反応 (C)
-----------------	-------------------------------------

目標・好きなものは何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

<p><b>好きな食べ物は何？</b></p> <p>・好きな物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>全員で尋ねる →半分対半分で尋ね合う →グループで声を合わせて尋ね合う →ペアで尋ね合う スモールステップで安心感をもって慣れ親しませていく。</p>	<p>○子供たちに人気のキャラクターを登場させて、尋ねる表現や答える表現に慣れさせる。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>T : What food do you like? C : (キャラクターになりきって) I like チョコ. ピーマンは、嫌いだよ。ピーマンは英語でもピーマン? T : ピーマンは、“green peppers” C : へえ、英語じゃ違うんだね。</p> <p>○給食メニューの好き嫌いを尋ね合う。</p> <div style="text-align: right;">  </div>
---	--

<b>3時目</b> 主な活動	JTE の具体的な手立て (O)
-----------------	------------------

目標・好きなものは何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

<p><b>先生の好きなものは何？</b></p> <p>・好きな物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p>	<p>○相手をよく見て、4つのうちどれに近いのか心情を想像する。</p> <div style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">とても好き</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 10px;">まあまあ好き</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 10px;">それほどでもない</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 10px;">きらい</span> </div> <p>“I like ~.” “I don't like ~.” 友達の語調、表情、動き等を手掛かりに、どの程度好きか嫌いかを予想する。自然と相手に注目する手立てとなる。児童は、相手の感情や思いをくみ取ろうとする。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>○ALT や JTE の好きなものを予想して、全員でインタビューをする。丁寧なかかわり方に気付かせていく。次時に使用するワークシートを使用したり、気持ちの良いかかわり方を意識して活動したりする。次にペアで活動するための布石とする。</p> <div style="text-align: right;">  </div>
--	---

これまでの「振り返りカード」の記述から、児童が気付いた「目指す姿」を、評価の観点別に抜粋して掲示しました(図2)。授業中の言葉掛けに加え、さらに「目指す姿」を児童が意識することをねらった手立てです。掲示をして、児童にとってヒントになるようにしました。

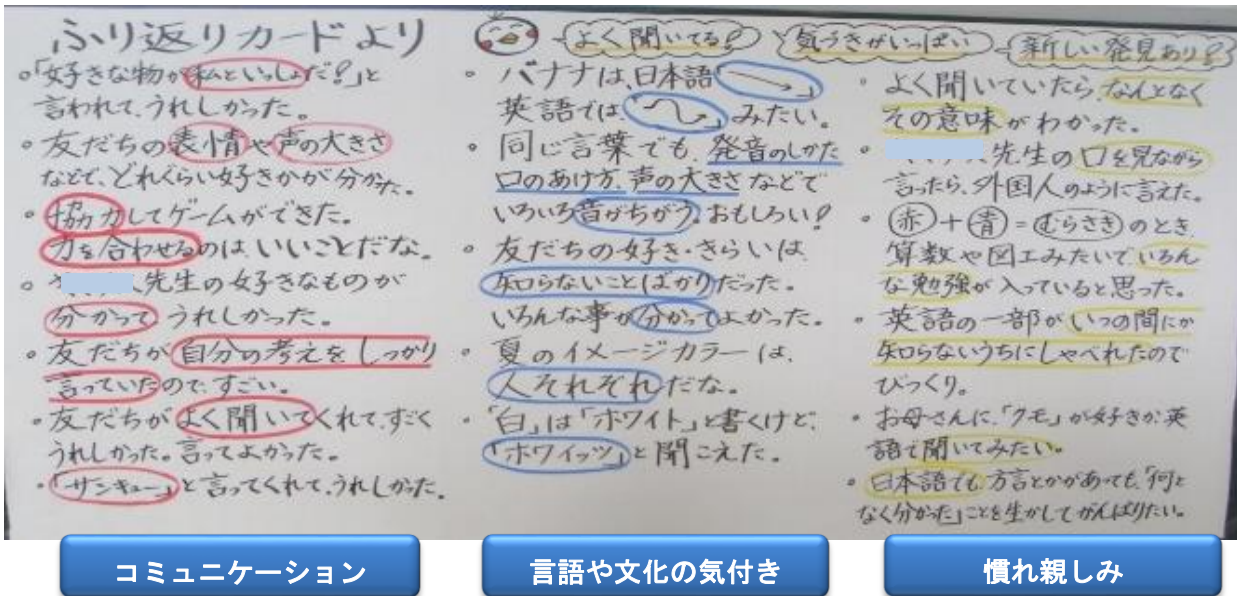


図 2 児童の振り返りの言葉より

1 時間の授業の中で、教師は、評価の観点に沿った「目指す姿」を捉えて具体的に紹介し、価値付けをしていきます。その積み重ねで、児童は自分の行動を振り返り、より「目指す姿」に迫る行動を目指して活動しようとするようになると考えます。具体的に紹介するタイミングを矢印で示しています。

4 時目 児童の主な活動	JTE の具体的な手立て (○)	「目指す姿」を見つけて評価するタイミング
目標・好きなものについて、積極的に尋ねたり答えたりして、友達とより深くかかわろうとする。		
<p>1 前時の活動を振り返り、活動のテーマを確認する。</p>	<p>○前時の振り返りカードの感想から、友達とのかかわりや相手に関する気づきで良かったことを紹介し、本時でも意識させていく手掛かりにさせる。</p> <p>○本時の目標を「友だちにインタビューをして、」と、途中まで提示する。その先は児童が考える。</p> <p>友だちにインタビューをして、</p> <p>友だちにインタビューをして、もっと友だちのことを知ろう!</p> <p>本時の授業では、目標を途中まで提示してその先は児童に考えさせました。その結果、「友だちにインタビューをして、もっと友だちのことを知ろう!」という児童が考えた目標ができました。外国語を使ってインタビューをすること自体が最終目標ではなく、その先にある「友だちのことを知る」という目標に向かって児童は活動しました。</p> <p>○「友達 Book」を作ることを確認し、目的意識をもたせる。</p>	<p>← 前時の振り返り</p> <p>← テーマ提示時</p>

2 4つの部屋ゲーム (全員)

好きなものを尋ねる英語表現を聞き、教室の四隅にある答えの中で、自分の好きなものところへ移動する。

- カテゴリーや絵カードを変えながら、好きなものを尋ねる英語表現を繰り返し全員で言わせ、慣れ親しませる。
- 友達が移動した場所からそれぞれの好みが見らくなることで、好みや理由には、それぞれ違いがあることに気付かせる。



3 ラッキーカードゲーム (グループ)

グループ全員で、  
”What foods do you like?”  
と尋ね、一人が好きなものを選んでカードを取る。それを順番に繰り返す。最後に、JTE が発表するラッキーカードをもって人がラッキーというルールを進める。

- ラッキーカードを最後にもっている児童がラッキーであることを知らせることで、活動途中にどの児童も安心して言うことができるようにする。
- スモールステップで安心感をもって慣れ親しませていく。  
全員で→半分対半分で尋ね合う  
→グループで声を合わせて尋ね合う  
→ペアで尋ね合う→個人で (ペアでのお助けあり)



ラッキーカードを持ってなくても、一生懸命伝えよう、尋ねようとしていた姿を評価する。

What fruit /animal/ sport do you like?  
I like bananas/ rabbits and birds/ basketball.

4 友達にインタビューをする。

好きなものを予想する。インタビューをする。自分のことを伝える。

- ① 全員で、隣の児童にインタビュー
- ② 1対1になってインタビュー (ペア)

- 友達のことを考え、好きなものを予想させる。  
What fruit /animal/ sport do you like?  
I like bananas/ rabbits and birds/ basketball.
- デモンストレーションで、気持ちの良いコミュニケーションをするためのかわり方のポイントに気付かせる。  
(「ナイス！インタビュー」参照)  
始めのあいさつ、丁寧にかかわる、相手の言葉を受け入れる、最後のあいさつ



- カテゴリー分けされたものの中(インタビューシート)から一番好きなものを選ぶ。
- 言い方に自信のない児童と一緒に発音し、安心させる。



図3 本時のワークシート

- 途中で児童がより興味をもちそうな質問を与える。

What attraction do you like?  
I like merry-go-round/ おばけ屋敷/ ジェットコースター/ 観覧車/ プール/ ゴーカート……



答えに対して共感や感想の言葉を返している児童の姿を評価する。

**ナイス！インタビュー**


- ・聞き方「あいうえお」
- ・予想して聞く。
- ・目を見て 向き合って
- ・Hi! Thank you!
- ・反応しよう！  
へー、なるほど。
- ・Good! Me,too. Why?
- ・ジェスチャー OK

<p>5 本時の活動を振り返る。</p>	<p>評価 (◎) 配慮を要すると判断した児童への指導 (●)</p> <p>◎好きなものについて尋ねたり答えたりする等、友達や JTE と積極的にかかわろうとしている。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】          &lt;行動観察・発言・インタビューカードや振り返りカードの点検&gt;</p> <p>●進んでかかわりをもつことが難しい</p> <p>英語表現が言いやすくなるようにヒントを与えたり、友達と一緒に言わせたりして安心感を与え、相手の方を見てかかわろうとしている態度などを評価し、かかわることへの自信を高めるようにする。</p>	<p>活動後</p>
	<p>○外国語を使ってやりとりをしたことで、友達のことが今までより更に分かったことを感じ取らせる。</p> <p>○進んで活動していた姿やお互いを認め合う態度を具体的にほめ、次時はインタビューしたことを基に友達のことを知らせる Book を作ることを伝える。</p> <p>○好きなものが同じだったり違っていたりするが、それを受け入れていた児童の姿勢や、進んでインタビュー活動をして友達にかかわろうとしていた態度を称賛する。</p>	<p>振り返り前</p>
		<p>振り返り後</p>



図 4 本時の板書



5 時目 主な活動	主な活動と JTE の具体的な手立て
目標・友達のことがより分かる本を作成することで、友達の好みや思いに寄り添う。	
<p>「友達 Book」を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューしたことを基に、他者紹介をしたり ALT に伝えたりする。</li> <li>・「5 の 1 友達 Book」を作る。</li> </ul>	<p>○ 友達のことを考えながら、友達の好みや思いに寄り添うメッセージも書いて、友達 Book の 1 ページを作る。</p> <p><b>単元のゴール</b></p>  <p>図 5 友達にインタビューした内容をまとめた「友達 Book」の 1 ページ</p>